

沖縄大学管理栄養学科 子ども食堂サポートチーム

[沖縄県：活動期間3年]

管理栄養学科学生による那覇市こども食堂への食支援活動

一人の学生から始まった活動が 地域の未来を創る活動に

管理栄養学科の学生が那覇市にあるこども食堂で定期的に食事作りの手伝い、ひとり親世帯への手作り弁当の無償提供、また、コロナ禍にあってこども食堂のスタッフとこどもたちが楽しく調理体験ができる食育レシピ動画を制作し発信するなど、こどもたちに栄養バランスのとれた食事について支援できる活動を推進しています。県内初の管理栄養士の養成施設として、沖縄県のこどもの貧困に関する課題を那覇市の関係機関、地域のこども食堂、ボランティア団体と協力して食の面から支援しています。



むつみふれあい広場で
こども食堂の食事作り

手作り弁当、おいしそう！



地域とともに未来を創る

親、友達、先生、近所の高齢者以外との交流が少ないこどもたちにとって、学生との出会いは食の楽しさを学び、興味を持つ機会となっています。こども食堂のスタッフにとっては、食・栄養について詳しい学生がお手伝いすることで、こども食堂に活気が出て、いろいろな取組を積極的にできるようになっています。さらに、学生にとっても、こども食堂は「こどもを中心とした多世代交流の地域拠点」であることを学ぶことができ、幅広い視野を持った管理栄養士の育成にもつながっています。

学生と地域がともに
教える・教わる



動画を見ながら調理実習する
こどもたち

いろいろな気づきを活動に活かして

毎年、「チャレンジ沖大生」の企画に応募し、こども食堂を軸にした様々な活動を行っています。2020年度には、ひとり親世帯への栄養面での支援活動として、手作り弁当無料配布の取組を行いました。2021年度には、「Zoomでつながる食育の輪」と題し、こどもたちの食の自立支援を目指して料理レシピ動画を作成し、3ヶ所のこども食堂をZoomでつなぎ、調理実習を行いました。



お弁当作りの様子



「Zoomでつながる食育の輪」
動画を見ながら調理実習



このたびは、「地域のために、食をとおして何か役に立ちたい」という思いで始めた学生の活動が、名誉ある賞をいただき大変光栄に思います。これからも地道に、若い力と発想で地域の皆様と一緒にこども食堂のサポートを続けていきたいと思えます。

沖縄大学管理栄養学科
子ども食堂サポートチーム 一同